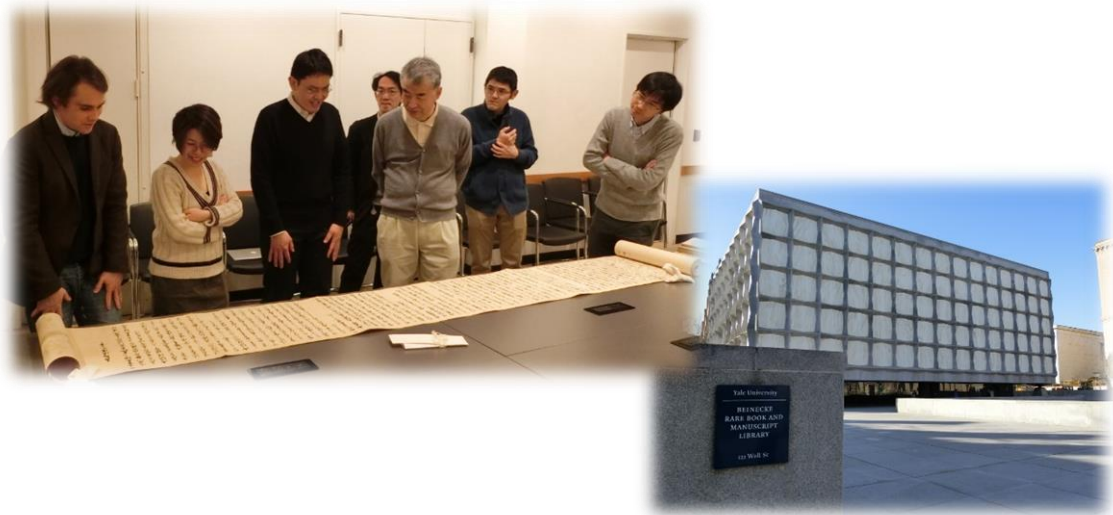


「周縁的社会集団と近代」 第2回 史料読解ワークショップ

この度、「国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業」海外連携機関であるイエール大学のゲストを交えて、同大学所蔵日本関係史料の一つである「京都古文書」(近世後期の京都における「町代改儀一件」と題する古文書で京都市中の町政改革をめぐる一件史料です)を素材にした「史料読解ワークショップ」を開催します。これは、下記のように大坂町触を読む会の一部として開催されるものです。

イエール大学バイネキ稀観本図書館は、朝河貫一(1873-1948/歴史学者・イエール大学教授)が収集した日本東アジア関連図書・資料を所蔵しています。現在、同大学歴史学部のダニエル・ボツマン氏のゼミでは、その中に含まれる「京都古文書」の史料を解読し検討を行っています。今回は、大坂の町触の理解をも深めるものとして、その成果の一端を紹介していただきます。

日本近世・近代史、都市史、地域社会史に関心のある皆さまのふるってのご参加をお待ちしています。



(写真左：バイネキ図書館所蔵京都古文書、写真右：イエール大学バイネキ稀観本図書館)

日時 2018年7月14日(土) 10:00~17:30 ごろ

会場 大阪市立大学 杉本キャンパス経済学部棟 2階第4会議室

内容

- ・午前の部 10:00~12:00 ごろ 「近世大坂町触を読む会」
17世紀、大坂三津寺町の町触の輪読会
- ・午後の部 13:00~17:30 ごろ 「近世大坂町触を読む会」
(史料読解ワークショップ)

中村治子氏(イエール大学図書館職員)／竹之内雅人氏(同大特任研究員)／ジョン・ダミコ氏(同大院生)／トーマス・モナハン氏(同大院生)

連絡・問い合わせ先

国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「周縁的社会集団と近代」事務局
佐賀 朝(UCRC 所長・文学研究科教授) E-mail: CYI03126@nifty.ne.jp